令和７年度　事業報告書

自　令和　７　年　４　月　１　日
至　令和　８　年　３　月３１日

社会福祉法人　新見市社会福祉協議会

令和７年度　事業報告書

【概要】

新見市社会福祉協議会は、令和７年度に設立２０周年を迎えました。これまでの間には、急速に進む少子高齢化や人口減少問題、コロナウイルス感染症の流行などによる生活困窮者の増加、人と人とのつながりの希薄化、食料や光熱水費などの物価高騰による生活困窮など、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。また、西日本豪雨災害や令和元年９月降雨災害をはじめとした自然災害の発生時には被災者等の支援を行いました。

こうした中、本会では、すべての市民が地域の一員としてのつながりを持ち、住み慣れた地域でともに支え合うことにより、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指し、市民の皆さまに協力いただくとともに、行政・関係機関等との連携により、令和１１年度までを計画期間とした第４次地域福祉活動計画を推進してまいりました。

令和７年度は、本計画に定めた３つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標１　福祉の心を育てよう」では、１１月９日に福祉大会を開催し、市民や福祉関係者多数の参加があり、地域福祉活動実践者の発表や記念講演などにより地域福祉への関心を高めることができました。また、各種 SNS や会報などの広報手段を積極的に活用し、幅広い世代に発信することにより、福祉意識の啓発や本会への理解促進に努めました。

福祉教育の推進では、小学生へのちょボラ運動や出前福祉教室のほか、中高生を対象とした夏のボランティア体験を通じて、社会福祉への理解を深めるとともに、様々な人との出会いから「ともに生きる」ことの意味を考える機会とし、福祉活動への関心を高められるよう取り組みました。

また、福祉委員等を対象とした地域福祉活動推進セミナーを実施し、支えあい活動の必要性などについての講座を行うなど、ボランティアや地域活動に繋がるように取り組みました。

災害ボランティアの推進では、災害ボランティア養成講座を行い、災害ボランティアについての知識を深めるなど、災害時の被災者支援体制の充実を図りました。

次に「基本目標２　ともに支えあおう」では、各サロンと密接に連絡を取りながらサロン活動の継続を促すとともに、サロンの立ち上げ支援や、サロン集いの場交流・研修会の開催など、居場所や交流の場づくり、見守り支え合う地域づくりを推進してまいりました。

また、福祉連絡会も各地区で開催することができ、福祉委員への役割周知や民生委員・児童委員等との連携強化を促進するとともに、見守り活動や孤立防止の重要性などについて啓発を行い、福祉委員活動の支援に努めました。

地域での支え合いの推進では、地区社協の活動や友愛訪問などが、関係者の様々な工夫により実施され、高齢者の不安感の軽減や住民同士の交流の機会の充実など地域福祉の推進を図りました。

また、地域の福祉課題の把握やその解決に向けて協議する場である小地域ケア会議を３２地区で実施することができ、地域の見守り・支え合い活動等の創出、各種研修会の開催支援のほか、地域福祉活動の基盤となる地域運営組織設立の支援等を行い、新たに２地区において組織が設立されました。

次に「基本目標３　ふだんの暮らしを支えよう」では、権利擁護の中核機関となる新見市成年後見相談センターにおいて、成年後見制度の普及啓発、利用促進や後見人支援などの機能の充実に努めるとともに、家庭裁判所や行政など関係機関との連携強化に努めました。特に、権利擁護推進セミナーや市民後見人フォローアップ研修における市民後見人の活動発表などにより、成年後見制度の普及や市民後見人の育成支援の強化に努めました。こうしたことから市内の市民後見人登録者１０名のうち、８名が後見人として活動されるなど、着実に市民後見人の充実につながっています。また、法人後見事業においても、適正な後見業務に努めるとともに、市民後見人との複数受任や法人後見支援員の充実により、権利擁護の体制強化も図ることができました。

年２回開催の「なんでも相談会」も定着し、相談件数はどちらも２１件あり、数多くの相談が寄せられています。また、相続や資産管理に関する研修会にも多くの参加者がありました。

新見市生活相談支援センターでは、フードドライブ事業を通年実施し、多くの方から食料等の寄付を受け、生活に困窮している世帯への支援や大学生等への配布を行うとともに、１２月には、寄付された食料等を使って食事の提供と居場所の確保としてぴおーらキッチン(地域食堂)を開催し、多くの参加者

があり、生活に不安を抱える人の支援や地域との交流の機会を確保しました。
　ピオーラカフェ(認知症カフェ)は、専門職による講話や季節を感じることができる催しなど、参加者が気軽に参加し交流できる場の提供と認知症について理解を深めていただけるように実施することができました。
　また、社会福祉法人連絡協議会では、フードドライブ事業などに協力し地域貢献に取り組むとともに、災害時の緊急連絡体制の図上訓練を実施し、社会福祉法人同士の日頃の連携体制づくりに努めました。
　３つの基本目標に加え本会が実施している介護サービス事業については、依然厳しい経営状況にありますが、市内全域を対象とする介護事業所としての役割の重要性を認識し、利用者の立場に立った安全で質の高いサービスの提供に努めてまいりました。
　また、法人運営では、第一次総合経営計画に基づき、組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化、ガバナンスの徹底を図るとともに、行政とのパートナーシップの強化により、財政安定と住民サービスの向上に努めました。さらに、社協の使命や役割などについて、役職員を対象に研修会を実施するなど、計画に掲げられた取組を着実に実行しました。
　各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	出席者数	主　な　議　案
1回	6月6日	理事9人 監事2人	・令和6年度事業報告・収支決算 ・私有車の業務使用に関する規程の制定 ・新見市社協神郷デイサービスセンター運営規程の廃止 ・新見市社協神郷デイサービスセンター(地域密着型通所介護)運営規程の制定 ・新見市社協神郷デイサービスセンター(地域密着型通所介護)運営推進会議規程の制定 ・生活介護に係る基準該当障害福祉サービス事業運営規程の一部改正 ・資金収支補正予算(第1号) ・役員選任候補者の推薦 ・評議員選任候補者の推薦・評議員選任・解任委員会の開催(現任期に関するもの、次期任期に関するもの) ・評議員選任・解任委員会の委員の選任 ・苦情解決第三者委員の選任 ・定時評議員会の開催 (報告)会長・常務理事の職務の執行状況
2回	6月23日	理事9人 監事2人	会長・副会長・常務理事の選定
3回	12月15日	理事9人 監事2人	・新見市社協中央ケアセンター・神郷ケアセンター運営規程の一部改正 ・新見市社協中央ヘルプセンター運営規程の一部改正 ・新見市社協中央デイサービスセンター・神郷デイサービスセンター(地域密着型通所介護)運営規程の一部改正 ・新見市社協神郷デイサービスセンター(地域密着型通所介護)運営推進会議規程の一部改正 ・新見中央訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正 ・評議員選任候補者の推薦・評議員選任・解任委員会の開催 (報告)会長・常務理事の職務の執行状況

4回	3月18日	理事８人 監事１人	・資金収支補正予算(第２号) ・職員就業規程の一部改正 ・嘱託職員及び臨時職員等就業規程の一部改正 ・登録ホームヘルパー就業規程の一部改正 ・支援員就業規程の一部改正 ・育児・介護休業等に関する規程の一部改正 ・新見市社協中央デイサービスセンター・神郷デイサービスセンター運営規程の一部改正について ・生活介護に係る基準該当障害福祉サービス事業運営規程の一部改正 ・令和８年度事業計画・収支予算 ・評議員会の開催 (報告)介護保険事業所運営指導の結果 (報告)総合経営計画の評価 (報告)事業評価委員会の結果 (報告)予備費の使用

【評議員会】

	開催期日	出席者数	主　な　議　案
1回	6月23日	20人	・令和６年度事業報告・収支決算 ・資金収支補正予算(第１号) ・役員の選任
2回	3月26日	15人	・資金収支補正予算(第２号) ・令和８年度事業計画・予算 (報告)事業評価委員会の結果

【各種委員会】

評議員選任・解任委員会	設　置　平成２９年３月２９日
委員構成（５人）	◇外部委員５人
内　　容	評議員の選任・解任を行う。
開催状況	期　　日：令和７年６月１７日　　４人出席 協議内容：評議員（１人）の選任について（現任期の減員補充） 評議員（２０人）の選任について（任期満了による改選） 期　　日：令和８年１月１４日　　５人出席 協議内容：評議員（４人）の選任について（減員補充）

苦情解決第三者委員会	設　置　平成17年10月1日
委員構成(2人)	◇人権擁護委員２人
内　　容	福祉サービス利用者等から苦情申し立てがあった場合に解決のための審議を行う。
開催状況	期　　日：9月18日　　2人出席 協議内容：苦情解決第三者委員の役割について 社協の取組状況と苦情解決の現状等について

地域福祉活動基金運営委員会	設　置　平成17年4月1日
委員構成(6人)	◇社協理事５人　◇行政関係者１人
内　　容	地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。
開催状況	期　　日：12月15日　5人出席 協議内容：基金の運用状況について、今後の基金の運用について 基金利息等の活用について

事業評価委員会	設　置　平成 23 年 12 月 22 日
委員構成(6 人)	◇社協理事 2 人　◇社協評議員 2 人　◇社協監事 1 人　◇行政関係者 1 人
内　　容	地域福祉活動計画に掲げた事業の進捗状況を把握し、評価を行う。
開催状況	期　　日：2 月 26 日　　5 人出席 協議内容：第 4 次新見市地域福祉活動計画推進における令和 7 年度事業評価について

【総合経営企画室】

第 1 次総合経営計画の推進	
計画推進委員等	常務理事、局長、次長、課長、参事、支所長、総務課係長、地域福祉推進課係長
内　　容	◇第 1 次総合経営計画の推進
開催状況	◇計画推進会議(委員 11 人) ・6 月 4 日～3 月 2 日　全 6 回実施 ◇経営理念・職員行動指針の普及推進 ・会議や朝礼で経営理念を唱和 ・各事務所に掲示、全職員に配布 ◇計画の評価 ・3 月 17 日　理事会で実施 ◇働きやすい職場づくりのための行動計画(一般事業主行動計画)の策定 ・内容：育児・介護を支援する制度の活用促進、年次有給休暇の取得推進、時間外勤務等の削減 ・計画期間令和 7 年 12 月～令和 10 年 3 月 31 日 ◇人材育成基本方針の策定(令和 8 年 3 月)

介護保険事業所等経営会議等	
管理職員等	常務理事、局長、次長、課長、参事、総務課係長、事業所管理者ほか
内　　容	介護保険事業所の安定経営と介護サービスの充実等について検討する。
開催状況	◇業務改善委員会(次長・課長・総務課係長・各事業所職員等) ・各事業所職員に業務の効率化や職場環境改善等に関するアンケートを行い、出された意見を基に、事業所ごとに協議。6 事業所で計 10 回実施。 ◇経営会議 ・12 月 24 日　5 人(局長・次長・課長ほか) ・業務改善委員会の結果等について ・1 月 15 日　5 人(局長・次長・課長ほか) ・各事業所の経営状況について ・介護事業所運営上の諸課題に関する検討について ・1 月 10 日　5 人(介護課長ほか) ・各介護事業(訪問介護・訪問入浴・通所介護)の経営状況と次年度の方向性ほか ・訪問介護事業の事業所加算取得や通所介護の経営改善に向けた取組について ・2 月 20 日　5 人(次長・課長ほか) ・各事業所の経営状況について ・各事業所の現状・課題について

【危機管理体制の整備等】

災害時の初動訓練等	
内　　容	災害時におけるＢＣＰ(事業継続計画)などを活用した初動訓練等の実施
開催状況	◇災害時連絡体制に伴う図上訓練の実施(社会福祉法人連絡協議会における連携活動) ・9 月 2 日　23 人(10 法人 11 事業所、オープンチャットによる連絡訓練) ◇ＢＣＰ訓練

	・2 月 24 日　10 人（介護保険課） ・大地震発生を想定し、各事業所の初動や当面の運営方法などについて確認した。 ・3 月 19 日　7 人（総務課・地域福祉推進課） ・大地震発生を想定し、初動の確認や、災害ボランティアセンター立ち上げの手順などについて確認した。

【寄付金】

内訳	令和 7 年度		令和 6 年度	
	件数(件)	寄付額(円)	件数(件)	寄付額(円)
香典返し・偲び草	156 件	3,400,000 円	176 件	3,473,000 円
退院内祝い	2 件	60,000 円	2 件	30,000 円
一般寄付・その他	22 件	244,700 円	14 件	222,034 円
合計	180 件	3,704,700 円	192 件	3,725,034 円

【基金運営事業】

◇令和 7 年度末　基金運用状況

種類	帳簿価額	利率	年間利息	期間	備考
第 51 回利付国債	100,000,000 円	0.3%	300,000 円	30 年	
第 171 回利付国債	50,000,000 円	0.3%	150,000 円	20 年	
米国債	49,704,731 円	4.25%	2,088,237 円	10 年	額面 317 千ドル
定期預金	295,269 円	0.25%	738 円	1 年	
合計	200,000,000 円		2,538,975 円		

※米国債年間利息は 1 ドル 155 円の場合の金額

◇令和 7 年度　基金運用収益

種類	金額
日本国債利息	450,000 円
米国債利息	2,019,663 円
定期預金利息	369 円
合計	2,470,032 円

※上記運用収益を福祉大会、心配ごと相談事業、福祉委員活動推進事業、友愛訪問事業に充当

【役職員等研修】

開催状況	内　容	参加者
職員研修 8 月 5 日 8 月 8 日	◇総合経営計画推進研修会 ・部門間連携に関するワークショップ	52 人
役職員研修 12 月 15 日	◇社会福祉協議会基本要項 2025 に関する研修会 ・講師：岡山県社会福祉協議会　田口都　氏	役職員 22 人

【健康経営に関すること】

開催状況	内　容	参加者等
10 月 17 日	◇健康アップ勉強会「メタボリックシンドロームについて」（渡辺病院総合診療科　鳥越大史　氏）	36 人

【新見市地域福祉センター貸館事業】

	令和 7 年度	令和 6 年度
利用件数	180 件	204 件

地域福祉事業・相談支援事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	福祉大会(設立２０周年記念福祉大会)	事業区分	自主事業
事業概要	支え合い活動が市内に広がることや福祉への関心を高めることなどを目的として、地域住民による活動発表と記念講演を行う。		
実施内容	◇11 月 9 日　まなび広場にいみ大ホール　225 人参加 ・支えあい活動の取組発表 ・菅生をよくする会「菅生地区生活支援サービス」 ・記念講演 ・「足し算で生きる～がんステージ 4 からの生還～」 フリーアナウンサー　笠井信輔　氏 ・新見市社協設立 20 周年記念ふくしの標語コンクール実施 ・応募総数 443 点(小学生 273 点、中高生 113 点、一般 57 点) ・最優秀賞「やさしさと　少しのゆうきで　さくえがお」ほか ・展示企画：社協事業展示(会場ロビー、後日地域福祉センターロビーに掲示)		

事業名	福祉情報の発信	事業区分	自主事業
事業概要	広報紙やホームページ、SNS など時代に即応した媒体により本会の活動などについて広報する。		
実施内容	◇Facebook・インスタグラム・まいぷれで情報発信　毎週金曜日◇社協だよりの作成・発送　年 6 回(奇数月) ◇ホームページでの情報発信　随時		

事業名	社協会員の加入促進	事業区分	自主事業
事業概要	社協会員の加入促進を図り、地域福祉活動の財源を確保する。		
実施内容	◇社協会員の募集 ・地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の向上と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。		

	令和 7 年度		令和 6 年度	
会員の種類	会員数	納入額(円)	会員数	納入額(円)
普通会員	7,180	6,815,000 円	7,455	7,027,500 円
賛助会員	44	132,000 円	47	141,000 円
特別会員	220	1,200,000 円	221	1,205,000 円
合計	7,444	8,147,000 円	7,723	8,373,500 円

◇普通会員の加入状況

	令和 7 年度	令和 6 年度
依頼世帯	8,758 世帯	8,744 世帯
加入世帯	7,180 世帯	7,427 世帯
加入率	82.0%	84.9%

事業名	共同募金運動	事業区分	自主事業
事業概要	様々な方法で募金活動を展開し、募金を通じて福祉に参加する意識を育むとともに、地域福祉の向上に役立てる。		

実施内容

◇赤い羽根共同募金運動(10/1～12/31)

募金方法	募金額	募金ボランティア数等	備考
戸別募金	3,953,500 円	7,171 件	各世帯
街頭募金	32,230 円	24 人	10/1 サンパーク新見、にいみプラザ
大口募金	951,000 円	414 人	社協役員・評議員により全域で普及推進
学校募金	29,493 円	11 校	市内小学校
職域募金	705,528 円	1,411 口	事業所等職員
イベント募金	139,832 円	5 か所	哲多すずらんまつり、哲西健康福祉まつり、JA 感謝祭、神郷ふるさと祭、大佐ふるさとまつり
店頭募金	177,755 円	56 か所	商店、事業所等に設置
自動販売機募金	30,884 円	3 か所	地域福祉センターほか
その他の募金	53,189 円		
預金利息	1,625 円		
合計	6,075,036 円		

目標額	4,800,000 円
実績額	6,075,036 円
達成率	127%

◇歳末たすけあい募金運動(12/1～12/31)

募金方法	募金額	募金ボランティア数
戸別募金	3,980,750 円	7,139 人
その他の募金	11,248 円	1 件
預金利息	425 円	
合計	3,992,423 円	7,140 人

目標額	4,500,000 円
実績額	3,992,423 円
達成率	88.7%

◇広報・啓発

・地区民生委員児童委員協議会、福祉連絡会等様々な場で共同募金の趣旨説明や協力依頼

・社協だより、SNS 等を活用した配分金事業や募金活動の周知

事業名	小学生向け福祉教育	事業区分	自主事業
事業概要	小学生を対象に、福祉に関する学習や体験の機会を提供し、学童期からの福祉意識の醸成を図る。		
実施内容	◇小学生向け福祉教育(ちょボラ) ・ちょボラノートによる活動実施(全 15 校参加、取組児童 376 人) ・活動報告書(ちょボラだより)の作成・配布 ◇出前福祉教室 ・高齢者疑似体験 1 件(新見南小) ・車いす体験 3 件(野馳小、思誠小、西方小)		

事業名	夏のボランティア体験	事業区分	自主事業
事業概要	夏休み中の中高生を対象に、ボランティア活動の機会の提供や、福祉に関する学びを深める研修会を開催し、ボランティア意識の醸成を図る。		
実施内容	◇ボランティア体験活動を高齢者・障害者施設で 3 日間実施 ・活動期間 7 月 21 日～8 月 22 日 ・活動者 60 人　活動先 15 施設 ◇事前研修会・活動調整会議　7 月 12 日 ・参加者：中高生 49 人　受入施設職員 12 人 ・内容：夏ボラの目的、活動上の注意事項、活動目標の設定、ボランティア日程調整、活動内容や留意事項の確認 ◇事後研修　8 月 23 日 ・参加者：中高生 42 人 ・内容：活動のふりかえり ◇活動報告書(夏ボラ新聞)の作成・配布		

事業名	災害ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	災害ボランティアの養成、登録を推進し、災害時に迅速に活動できる体制を整備する。		
実施内容	◇災害ボランティア養成講座　9 月 11 日　参加者：52 人 ・説明「災害ボランティアについて」 ・講話・グループワーク「協働・連携してみんなで取り組む災害時の支援活動」 講師　日野ボランティア・ネットワーク　山下弘彦　氏 ◇「災害ボランティアに関するアンケート」の実施 ・対象：社協特別・賛助会員(個人除く市内事業所 253 件)　回答 104 件 ・「登録できる」と答えた事業所訪問　16 件 ・災害ボランティア登録　個人 55(新規 4)人、団体 14(新規 12)団体(事業所等) ◇災害・防災に関わる会議・研修会への参加 ・災害支援体制行政・社協合同会議　7 月 8 日 ・災害時の被災者支援を考える研修会(井原市社協)　11 月 7 日 ・岡山県災害救援専門ボランティア研修会　11 月 25 日 ◇地域防災力強化特別支援助成事業(県共同募金会) ・ソーラパネル付きポータブル電源、赤外線ヒーター、ミラーシート購入 ◇新見公立大学健康科学部共通教養科目「地域防災演習」への職員派遣　9 月 30 日 ・参加者：大学 2 年生 3 学科 180 人 ・講話：災害ボランティア活動とボランティアセンターの機能説明 ・演習：災害ボランティア活動のロールプレイ　など		

事業名	ボランティア・福祉活動推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	様々なボランティアや支え合い活動推進講座により、福祉意識の醸成を図る。		
実施内容	◇令和 7 年度実施の地域福祉推進活動セミナー　5 月 13 日　参加者 101 人 ・講演「楽しい助け合い活動！！地域ボランティアのすすめ」 ～誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域づくりのために ‘助け上手・助けられ上手’＆‘お節介’のススメ～ ・講師：一般社団法人ボランティアセンター支援機構おおさか ふくしと教育の実践研究所　SOLA　主宰　新崎国広　氏		

事業名	手話講座	事業区分	市受託事業
事業概要	手話を学ぶ機会を提供し、聴覚障害者への理解を深める。		
取組内容	◇手話奉仕員養成講座(入門課程) ・実施回数　20 回(40 講座)		

	・受講者数・修了者数　受講者数 16 人、修了者数 7 人

2. ともに支えあおう

事業名	集いの場推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	介護予防、地域住民の交流・仲間づくりの促進を目的として、誰でも参加しやすい集いの場づくりを支援する。		
実施内容	◇ふれあいサロンの推進 ・各地区でサロン実施(62 サロン、延べ 562 回開催、延べ 5,753 人参加) ・地区別サロン数(新見 44、大佐 4、神郷 5、哲多 6、哲西 3(うち新規サロン 3、未実施サロン 1)) ◇サロン・集いの場交流会　7 月 30 日　51 人参加 ・活動発表「がんこじいさんの会～地域のつながりを大切に～」 正田がんこじいさんの会 ◇げんき広場インストラクター派遣(35 サロンに派遣) ◇講師派遣に関する日程調整(ヤクルト健康教室：15 件) ◇活動拠点整備費事業 新規サロン 2、継続サロン 2(令和 7 年度から 15 年以上継続サロンを対象に追加) ◇活動･立上げ推進(お試しサロン 2 サロン) ◇レクリエーション備品の貸出(39 点延べ 174 回) ◇サロン・集いの場ガイドブック作成 ◇障害がある人等の当事者サロンの推進 ひだまりサロン実施(活動サロン 2 サロン、開催回数延べ 16 回、参加者延べ 129 人)		

事業名	福祉委員設置・活動支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域の福祉課題を把握するアンテナ役として福祉委員を各地区に設置します。また、民生委員や地区社協等との情報共有の場を設け、見守り活動を推進する。		
実施内容	◇福祉委員の設置(委嘱状交付) ・741 地区 814 人に委嘱 ◇福祉連絡会(地区ごとに実施) ・第 1 回：福祉委員の役割説明　40 地区 33 会場　参加者 795 人 ・第 2 回：地域課題について等　28 地区 22 会場　参加者 574 人 ・第 3 回：地域課題について、今年度のまとめ等　4 地区 4 会場　参加者 135 人		

事業名	“ストップ孤立”訪問事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	様々な訪問活動をとおして、身近な地域での見守り活動の充実を図り、孤立・孤独の防止を推進する。		
実施内容	◇ひとり暮らし高齢者訪問の実施 ・80 歳以上独居高齢者世帯を訪問　延べ 5,642 件 ◇友愛訪問事業 ・75 歳以上ひとり暮らし高齢者世帯､80 歳以上高齢者のみの世帯を訪問 ・年 3 回 35 地区で実施　延べ 5,606 人 ・ボランティア数：延べ 1,404 人 ・6 月 24 日　事業説明会　参加者 29 地区　42 人 ・事業説明 ・講話「元気な地域力を上げる見守り訪問活動」 ・グループワーク「地域みんなで孤独孤立を防ぐための訪問活動の工夫」 講師ノートルダム清心女子大学　濱﨑絵梨　氏 ◇歳末たすけあい訪問の実施		

	・民生委員と協力して、対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布し、安否確認を行った。　訪問件数合計1,214世帯 ①満80歳以上ひとり暮らし・高齢者のみの世帯　1,161件 ②身体障害者手帳1級または療育手帳Aを所持する人 24件 ③準要保護児童生徒のいる世帯　29件 ◇学校等への訪問(図書カード配布)　認定こども園、保育所、小中学校等32か所

事業名	地域ささえあい推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	地域住民と生活支援コーディネーター等の専門職が地域課題について協議する小地域ケア会議を実施し、地域に必要な生活支援サービスや地域活動(ボランティア)等の創出を支援する。		
実施内容	◇既存の地域資源の把握・整理 ・「にいみ暮らしを支えるサービス一覧表」全件聞き取り調査、更新 ◇地域課題の把握・協議 ・各地区福祉連絡会、小地域ケア会議において課題把握及び協議 ◇サロン・集いの場の把握・広報 ・集いの場参加・取材71件、ふれあいサロンガイドブック作成及び広報 ・岡山県長寿社会課作成「介護予防のための通いの場ブックレット」への情報提供(ぷらざふれあいサロン) ・岡山県介護予防交流フォーラム登壇者マッチング、調整、資料・動画作成(正田がんこじいさんの会) ◇支え合い活動の見える化と取組の推進 ・菅生地区「地域の支え合い活動」の取材、映像化 ・福祉大会において上記の取組発表を実施 ・地域福祉活動ガイドブックの配布・広報 ◇小地域ケア会議の開催・設置推進　全42地区中32地区設置49回 ◇支え合い活動の基盤となる組織づくりの立ち上げ支援 ・地域運営組織設立地区への支援(大井野地区、畑木地区) ・地域運営組織設立準備地区への支援(新郷地区) ◇関係者間のネットワークの構築 ・地区社協情報交換会 ◇地域共生社会の構築に向けた推進方法の協議、情報共有 ・地域共生社会コアメンバー会議　4回 ◇各地域共生社会推進チームとの情報交換、情報共有　42地区54回 ◇生活支援ニーズとサービスのマッチング(地域の福祉課題に基づく活動創出支援) ◇介護予防につながる集いの場の創出に向けた研究 ・サロン・集いの場交流会(7/30　51人参加) ◇高齢者等の自立支援、重度化予防を目指した支援の検討、提案 ・新見市地域ケア個別会議への参画　10回 ◇様々なサービス提供主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組の推進 ・小地域ケア会議全体会・地区社協情報交換会(10/3　69人参加) ◇認知症キャラバンメイトやサポーターとの協働による共生社会の取組の推進 ◇地区社協等の活動推進に向けた各地区の進捗状況の共有　6回 ◇生活支援サービスの担い手の養成及び活動支援 ・お互いさま研修会の実施 (9/28大佐　70人参加、1/17神郷・哲多・哲西　91人参加) ◇第1層協議体の企画・運営支援　第1層協議体打合せ　5回 ◇第2層生活支援コーディネーターの支援 ・新任第2層生活支援コーディネーター訪問研修　3地区		

	・生活支援コーディネーター情報交換会(8/7　20 人参加) ・社協生活支援コーディネーター情報交換会　5 回

事業名	地区社会福祉協議会の支援	事業区分	自主事業
事業概要	地区社協の支え合い活動を推進し、組織の基盤強化を支援する。また、地域活動の担い手の育成に向けた研修会を実施し、地域活動を支援する。		
実施内容	◇地域福祉推進事業助成金の交付　49 地区　4,605,500 円 ・地区社協活動資金の確保(会員会費納入促進) ◇市内 50 地区に地区担当職員を配置し活動支援 ◇地区社協等の基盤強化・小地域福祉活動計画(地域運営組織将来計画)策定 ・設立地区：大井野・畑木 ◇地区社協情報交換会の実施　10 月 3 日　69 人参加 (小地域ケア会議全体会と合同開催) ◇地域福祉活動ガイドブックの配布・広報		

3. ふだんの暮らしを支えよう

事業名	各種相談事業の開設	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	市民が抱える多様で複雑な問題に対し、気軽に相談できる相談所を開設する。		
実施内容	◇なんでも相談会の実施 ・弁護士、司法書士など専門職による相談会を年 2 回開催 ・9 月 20 日　相談件数 21 件 ・2 月 14 日　相談件数 20 件 ◇法律相談会の実施(弁護士による専門相談) ・毎月第 3 水曜日　年 12 回実施　相談 73 件 ◇心配ごと相談会の実施(民生委員による相談) ・毎月第 3 水曜日　年 12 回実施　相談 1 件 ◇よろず相談　随時受付　相談 97 件		

事業名	生活困窮者自立支援事業	事業区分	市受託事業
事業概要	経済的困窮やひきこもり、社会的孤立等あらゆる相談に応じ、生活の改善に向けたプランを作成し、相談者自らが生活再建することを支援する。		
実施内容	◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数 38 件 ・自立相談支援プラン策定者 9 人、家計相談支援プラン策定者 3 人 ・継続相談支援対応延べ件数　自立 1,389 件　家計 226 件 ◇緊急支援事業の実施　17 世帯、延べ 23 件 ◇フードドライブ事業の実施　寄付 77 件 ◇生活困窮者等自立支援ネットワーク会議　2 回実施 ・コアメンバー会議　11 回実施 ◇支えあいの地域づくり研修会　101 人 ・報告「新見市生活相談支援センターの取組について」 (発表：新見市生活相談支援センター職員) ・講演「地域社会の現状とこれからの社会的つながりの構築について」 ～地域における“コモンズ”の再生と想像を目指して～ (講師：川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科　直島克樹　氏) ◇「ぴおーらキッチン(地域食堂・交流事業)」の実施　参加者延べ 300 人 ・ぴおーら食堂(地域食堂)など、食とふれあいを通じたつながりと居場所づくり ・ぴおーら BOX 配布：準要保護世帯のうち 26 世帯に向けて食料品等を配布		

	◇新見公立大学生への食料品配布(1 回実施)261 人 ◇家計改善支援に関する職員研修(2 月 20 日)　参加者 7 人 ・講座「ワークブックと家計の見直し参考書について」 (講師：社会福祉法人グリーンコープ　岡山市家計改善支援員　黒田明穂　氏)

事業名	日常生活自立支援事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	判断能力が不十分な人が地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行う。		
実施内容	◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援 ・利用状況　26 人(認知症高齢者 4 人、知的障がい者 13 人、精神障がい者 9 人) ・生活支援員　13 人 ◇生活支援員の育成 ・2 月 24 日　生活支援員研修会　参加者 14 人(生活支援員 8 人、職員 6 人) 講義「日常生活自立支援事業を支える生活支援員について」 (岡山県社会福祉協議会　川野杏奈　氏)		

事業名	法人後見・権利擁護推進事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	成年後見制度に関する相談窓口を設置し、相談体制の整備や権利擁護に関する啓発を行う。また、認知症や障がい等により判断能力が不十分な方の権利を守るため、法人として後見人等となり、日常生活を支援する。		
実施内容	◇新見市成年後見相談センター(中核機関)の運営 ・行政関係部署との協議　7 回 ・権利擁護委員会　12 回・権利擁護協議会　1 回 ①広報に関すること ・チラシの配布　地区民生委員会、福祉連絡会等、社協だよりでの広報 ②相談に関すること ・相談件数 51 件　延べ対応回数 272 回 ③制度利用促進(受任者マッチング)に関すること ・権利擁護委員会での受任者調整　合計 13 件 ④後見人支援(市民後見人を含めた後見人の育成及び支援)に関すること ・3 月 5 日　市民後見人フォローアップ研修の開催　参加者 9 人 ・座談会「市民後見人として活動する中で感じている課題や思いを語りあおう」 (コーディネーター　司法書士行政書士鈴木事務所　鈴木優介　氏) ・市民後見人養成講座への受講案内 ◇成年後見制度及び権利擁護の利用促進、普及啓発 ・なんでも相談会の開催 ・9 月 21 日　相談件数 21 件、2 月 24 日　相談件数 21 件 ・9 月 8 日　にいみ権利擁護セミナー　参加者 72 人 ・講演「実例から見る成年後見制度」(講師：司法書士　鈴木優介　氏) ・活動発表「市民後見人として活動して感じていること」 (発表者：新見市市民後見人　村上公江　氏) ・出前講座　5 月 14 日　備北信用金庫　参加者 7 人 7 月 25 日　福祉ワークセンター阿新保護者会　参加者 15 人 8 月 28 日　豊永公民館　参加者 43 人 11 月 27 日　神郷公民館　参加者 35 人 2 月 17 日　上神代地区社協　参加者 20 人 ・日常生活自立支援事業からの移行相談　3 件 ◇法人後見の実施 ・成年後見人等の受任状況　31 件受任中(新規 6 件(社協単独後見 5 件))、終了 3 件		

	・法人後見支援員として５人活動中(被後見人６人) ・複数後見人との連携　専門職との共同後見２件、市民後見人との共同後見６件 ・5 月 20 日、6 月 2 日、7 月 1 日、10 月 7 日、12 月 2 日　法人後見運営委員会の実施 ・6 月 26 日　内部監査の実施

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	低所得者や高齢者、障がい者世帯等へ資金貸付による経済的支援及び相談援助を行う。		
実施内容	◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る ・相談件数５件(総合支援資金１件、福祉費１件、緊急小口資金１件、その他２件) ◇新型コロナ特例貸付「市町村社協相談支援体制強化推進事業」における相談支援業務 ・架電、郵送、訪問によるアウトリーチ件数 184 件 ・窓口対応・関係機関との情報共有等 161 件 ・生活状況把握アンケートの実施　41 世帯		

事業名	家族介護者のつどい・くつろぎの家	事業区分	自主事業
事業概要	在宅介護者同士の交流や心身のリフレッシュの機会を提供する。また、要介護者の一時預かりを行い、お互いが安心して過ごせる場を提供する。		
実施内容	◇第１回　10 月 4 日　介護者のつどい９人、くつろぎの家３人 ・ウインドアンサンブル音楽鑑賞、パステルアート作品作り		

事業名	ピオーラカフェ	事業区分	市受託事業
事業概要	認知症の人やその家族、地域の誰もが気軽に参加できる交流の機会や、専門職に相談できる場を提供し、認知症への理解を促進する。		
実施内容	◇第 23 回　5 月 28 日　参加者 36 人 ・「心地いい音色でなごみ♪懐かしい曲をみんなで歌おう♪「フルートとピアノの演奏会」フルート奏者　坂部由香子氏、ピアノ奏者　窪田晶子　氏 ・認知症のお話と「みんなで歌おう」難波美保子　氏 ◇第 24 回　7 月 23 日　参加者 31 人 ・夏祭り(ヨーヨーつり、輪投げ等)・うちわ作り ◇第 25 回　9 月 24 日　参加者 33 人 ・「ゲームで脳トレ！楽しく認知予防」鳥取県立日野高校３年生 ◇第 26 回　11 月 26 日　参加者 28 人 ・講話「認知症予防について」訪問看護ステーションくろかみ　小郷寿美代　氏 ◇第 27 回　1 月 28 日　参加者 35 人 ・「獅子舞」湯川いさみ会　・「福笑い」・「新春お茶会」裏千家新見同好会 ◇第 28 回　3 月 25 日　参加者 45 人 ・講話「認知症とともに生きる～新しい認知症感を知ろう～」難波美保子　氏 ・体操「椅子に座ってリフレッシュ」介護予防指導士　三村幸子　氏		

事業名	福祉車両・福祉機器等貸出事業	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	障がいのある人等の通院や外出支援を目的として、福祉車両・福祉機器等の貸出を行う。		
取組内容	◇福祉車両の貸出 ◇障害者移動支援事業(受託事業) ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な人への貸出 17 回 ◇ボランティア等車両貸出(自主事業) ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 51 回		

	◇車いすの貸出等 内訳 / 令和7年度 / 令和6年度 車いす貸出件数 / 38件 / 56件 電動ベッド貸出件数 / 9件 / 3件

事業名	地域における公益的取組の促進	事業区分	自主事業
事業概要	新見市社会福祉法人連絡協議会と連携し、地域における制度の狭間にある様々な問題解決に向けて取り組む。		
取組内容	新見市社会福祉法人連絡協議会(新見市と9社会福祉法人11事業所で組織) ◇総会　5月29日　9法人10人、事務局4人出席 ・事業報告・決算ほか、役員改選 ◇事業推進会議 ・生活困窮者支援会議　7月1日　7人出席(事務局含む　以下同じ) ・災害支援会議　7月1日　8人出席 ・法人運営会議　7月29日　12人出席 ・災害支援・法人運営合同会議　9月10日　17人出席 ◇取組内容 ・災害時連絡体制に伴う図上訓練9月2日　23人参加(LINEオープンチャット) ・フードドライブ活動(社協共催)11月を強化月間とし各法人で食品を募集　525点 ・ぴおーらキッチン　(社協共催)12月13日　7人参加 ・研修会開催　11月21日　33人参加 社会福祉法人の役割や取組について(講師:特別養護老人ホームおおさ苑　小川修司施設長、特別養護老人ホームゆずり葉　杉本直人リーダー) ・法人連協だより配布　にいみ社協だより3月号と併せて市内全世帯に配布 ・6月25日　重点支援地方交付金の追加支給に伴う緊急要望書(岡山県社会福祉法人経営者協議会)を新見市長へ提出 ・9月30日　中山間地域の福祉・介護事業所等における持続可能で安定したサービス提供体制のための支援等に関する要望書を新見市長へ提出		

介護保険事業

【居宅介護支援事業】

要介護者ケアプラン作成(介護保険事業)

事業所	実績 (目標件数)	目標達成率	前年実績	前年からの増減
中央ケアセンター	1,333件 (1,584件)	84%	1,544件	△211件
神郷ケアセンター	1,260件 (1,152件)	109%	1,099件	161件

要支援者等ケアプラン作成ほか

事業所	要介護認定調査	介護予防 ケアプラン作成
中央ケアセンター	72件	106件
神郷ケアセンター	42件	131件

【訪問介護事業】

中央ヘルプセンター	実績	前年実績	増減
介護	3,782 回	4,154 回	△372 回
総合事業	1,801 回	1,928 回	△127 回
合計	5,583 回	6,082 回	△499 回

稼働時間(概算)による評価

目標時間数	実績	目標達成率
27 時間／日	24.1 時間／日	89%

【通所介護事業】

中央デイサービスセンター	実績	前年実績	増減
介護	5,122 人	4,891 人	231 人
総合事業	1,726 人	1,718 人	8 人
合計	6,848 人	6,609 人	239 人
1 日あたり利用者数 (目標数)	28.3 人 (28 人)	27.2 人 (28 人)	1.1 人
目標達成率	101%	97.1%	
定員に対する利用率	80.9%	77.7%	定員 35 人

神郷デイサービスセンター		実績	前年実績	増減
利用者数	介護	2,675 人	2,870 人	△195 人
	総合事業	480 人	636 人	△156 人
	合計	3,155 人	3,506 人	△351 人
1 日あたり利用者数 (目標数)		12.7 人 (16 人)	14.4 人 (18 人)	△1.7 人
目標達成率		79%	80%	
定員に対する利用率		71%	48%	定員 18 人

※令和 7 年 9 月から、通所介護(通常規模・定員 30 人)から、地域密着型通所介護(定員 18 人)に変更。令和 7 年度の利用者数は 4 月～3 月の通算人数を記載し、1 日あたり利用者数・目標達成率・定員に対する利用率は、地域密着型通所介護事業実施期間(9～3 月)の実績を記載している。

【訪問入浴介護事業】

中央訪問入浴介護事業所	実績	前年実績	増減
利用者数	167 人	190 人	△23 人
1 日あたり利用者数 (目標数)	1.59 人 (2 人)	1.3 人 (2 人)	0.29 人
目標達成率	80%	65.0%	

障害福祉サービス事業

【居宅介護事業】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	172 人	294 人	△122 人

【障害者デイサービス事業】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央デイサービスセンター	50 人	55 人	△5 人

【移動支援事業(個別支援)】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	0 人	0 人	0 人

【障害者訪問入浴サービス】

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央訪問入浴介護事業所	50 人	50 人	0 人

在宅福祉事業

【新見市産後ヘルパー訪問事業】(受託事業)

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	0 人	13 人	△13 人

【子育て支援ヘルパー訪問事業】(受託事業)

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

実施事業所	実績	前年実績	増減
中央ヘルプセンター	37 人	11 人	26 人

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。
◇新見市老人クラブ連合会　◇新見市遺族連合会　◇新見市身体障害者福祉協会
◇神郷地域ボランティア協議会　◇哲西町ボランティア協議会

ボランティア保険加入促進

種類	令和 7 年度		令和 6 年度		備考
活動保険	156 件	3,058 人	148 件	3,215 人	加入年度に適用される保険
行事用保険	137 件	10,363 人	118 件	8,656 人	1 行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進

人材育成活動

○大学・高等学校、一般の社会福祉士、介護支援専門員、看護師等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。

・新見公立大学　地域福祉学科 4 年生　コミュニティ・ソーシャルワーク実習　1 人受入
　前期 6 月 17 日～7 月 3 日、後期 7 月 11 日～8 月 1 日(全 29 日間)
・新見公立大学　地域福祉学科　介護実習　2 人受入(各 5 日間)
　中央ヘルプセンター　6 月 16 日～6 月 20 日

・新見公立大学　看護学科　在宅看護実習　38 人受入
中央ケアセンター　4 月 9 日～6 月 25 日(21 人)、9 月 17 日～12 月 18 日(17 人)
神郷ケアセンター　4 月 15 日～6 月 24 日(18 人)、9 月 17 日～12 月 18 日(16 人)
・岡山県介護支援専門員実務研修見学実習　1 人受入(3 日間)
神郷ケアセンター　2 月 12 日、3 月 5 日、3 月 19 日